

船舶事故調査報告書

平成23年4月7日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委 員 横 山 鐵 夫（部会長）
 委 員 山 本 哲 也
 委 員 石 川 敏 行

事故種類	転覆
発生日時	不明（平成22年12月21日 07時10分ごろ～09時22分ごろの間）
発生場所	三重県桑名市揖斐 ^{いびながら} 長良大橋付近の揖斐川 （概位 北緯35° 03.2′ 東経136° 42.4′）
事故調査の経過	平成22年12月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{とうえい} 藤栄丸、0.9トン ME3-59011（漁船登録番号）、個人所有 7.97m（Lr）×1.70m×0.55m、FRP ガソリン機関、99kW（漁船法馬力数）、平成2年12月17日
乗組員等に関する情報	船長 男性 78歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年6月13日 免許証交付日 平成20年7月28日 （平成25年9月25日まで有効） 甲板員 女性 74歳
死傷者等	死亡 2人（船長、甲板員）
損傷	船外機に濡れ損
事故の経過	本船は、船長ほか甲板員1人が乗り組み、平成22年12月21日07時10分ごろ揖斐川右岸の桑名市赤須賀地区を発し、揖斐長良大橋付近の揖斐川でしじみけた網漁に従事していた。 僚船の船長は、川下に向けて操業している本船を目撃したが、その後、揖斐長良大橋付近で転覆している本船に気づき、所属する漁業協同組合に連絡した。 僚船が所属する漁業協同組合は、09時22分に海上保安庁に通報した。 海上保安庁、三重県警察本部及び桑名市消防本部並びに僚船による捜索が行われ、船長は揖斐長良大橋下流側の川底で、甲板員は転覆状態の本船内でそれぞれ発見された。 船長及び甲板員は、搬送された病院で死亡が確認され、死因はともに溺水と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 3、視界 良好

	海象：平穩	
その他の事項	<p>揖斐長良大橋は、赤須賀地区の下流約700mのところに架けられていた。</p> <p>船長は、救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>甲板員は、救命胴衣を着用していた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>なし</p> <p>本船は、07時10分ごろ赤須賀地区を発し、その後、揖斐長良大橋付近で操業しているところを目撃され、09時22分までに同大橋付近で転覆しているところを発見されたことから、この間において、転覆したものと考えられる。</p> <p>本船は、揖斐長良大橋付近でしじみけた網漁の操業中、転覆したものと考えられるが、船長及び甲板員が死亡しており、また、目撃者もないことから、転覆に至る状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長及び甲板員の死因は、いずれも溺水であった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、揖斐川の揖斐長良大橋付近において、しじみけた網漁の操業中、転覆したことにより発生したものと考えられる。</p>	